

「比例を軸」貫き 4 議席回復必ず

解散・総選挙に備え候補者・近畿 6 府県委員長会議

早ければ今年の秋にも行われる可能性のある解散・総選挙で、比例近畿ブロック（定数28）での180万票獲得、4議席絶対回復へ比例4候補（こくた衆院議員、宮本前衆院議員、清水衆院議員、こむら尼崎市議）と日本共産党の滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の各府県委員長

の合同会議が7月12日、開かれました。黨員拡大を中心とする『特別月間』の目標達成こそ当面の最大の選挙作戦（各府県委員長）、「今国会ほど国民が声を上げて政治を動かしたことはない。党の果たしている役割を広げぬ（こくた氏）」と意思統一しました。

野党共闘の到達点
討論は情勢と課題に分けて行われ、情勢問題では、こくた氏が野党共闘の到達点について報告。①野党共闘の目的は安倍政権

の目的は安倍政権



打倒、野党連合政権をつくること。「政権をもに作る」との合意をつくって①②同時に通常国会で共産党と野党共闘が勝ち取った成果、反共攻撃への反撃など、野党共闘の到達点は画期的と指摘。その中で共産党が共闘を深化させたこと、「桜を見る会」や原発マネーなど「赤旗」と地方議員・党支部が大きな役割を果たしたことを強調しました。

維新とどうたたかうか

維新問題では、こくた氏は維新が近畿比例で第一党であることを見ること、憲法改悪、新自由主義、野党共闘破壊の先兵という本質を語ることを重要性をのべました。

大阪の柳府委員長は①メディアがつくった「吉村人気」に対し、府・市のコロナ対策を点検・検証し、前向き批判で対策強化を求め②「大阪都構想」ストップへ維新の政治戦略を打ち破る・コロナ禍での住民投票の無謀さを批判し、「住民投票よりコロナ対策を」と大阪市の在り方の根本的見直しを迫ることを報告。清水衆院議員は、維新の改憲策動についてのべるとともに、「維新の弱点は都構想とカシノ誘致。大阪をつぶすな、カシノは賭博」と訴え確信を持ってたたかうことを強調しました。

政治目標に結束

総選挙に向けた取り組みでは、林近畿ブロック事務局長が▽議席を争う主舞台はブロックであり、近畿2府4県が政治目標に結束し力を合わせてやり遂げる。後援会ニュースなどあらゆる宣伝物・ニュースで比例を位置づける▽定数28に対し2議席でいいの、4議席絶対回復を▽前回選挙で次点だった清水さんは1投票所当たり2票強、一つの党支部あたり4票あれば当選できたことを示し、一票一票が議席に直結することを強調。得票増の作戦の具体化、タテ線の取り組みの重要性をのべました。

「比例を軸に」

こくた氏は、「比例を軸に」の中心は「共産党はどういう党か」を押し出すこと、党議員の実績を「二つのゆがみ」をただすことと結びつけて押し出すことを強調。各府県からは「小選挙区を党候補なしでたたかう上で、『比例を軸に』をよく議論する」などの発言がありました。

清水氏は全民商訪問の経験、宮本氏は森友問題、教育提言の作成について報告し、こむら氏は「真ん中世代や若い世代に共感される候補者に」と語りました。

選対部長会議でも意思統一

近畿6府県選対部長会議が7月22日に開かれました。ブロック事務所からの報告を受け、経験交流。大阪府委員会からは①「比例を軸に」の活動の手引きを作成②「比例」の活動を目に見えようとして党・後援会の活動者会議を開催（比例4候補・小選挙区候補が決意表明）。小選挙区候補者会議と議後に街宣を実施③国会議員・比例候補を先頭にしたサマーキャラバンを実施。演説会・ついでを軸に、47万後援会員にニュースをとどけて総対話を進めるーなどが報告されました。

兵庫からは後援会倍加、会員にニュースを届け拡大へ力を借りるなどをのべました。

「比例版下」活用を 比例代表で日本共産党と書いてもらう人を大きく増やすため、近畿ブロックでは「比例代表選挙では日本共産党と書いて下さい」と呼びかけるニュース用の版下（5種類）作成しました。ぜひ活用して下さい。

日本共産党後援 NEWS
近畿ブロック連絡会 No.4 2020年8月

TEL06(6975)9111 FAX06(6975)9115
Email: icpkinki@cronos.ocn.jp



ニュースには「比例代表は日本共産党と書いて下さい」を必ず掲載しましょう

コロナ禍の下、知恵出し合って活動強化

励まし、リスペクトし

あい活動参加広げる

大阪東住吉区・3田辺後援会

大阪市東住吉区・3田辺後援会(東、南田辺地域)。長居競技場の植物園で「いっしょ」を行う予定でしたが、大雨のため後援会のセンターに会場を移して開きました。9年前「しんぶん赤旗読者会」から始まったことで、3カ月ぶりに開催。コロナ禍の6月「もの再開しました」。

「いつも党外の方のお宅をお借りし、気軽な集いと銘打ち幅広く呼びかけて開いています。党外の方にはお土産に党綱領パンフと入党呼びかけパンフを渡すようにしています」と責任者の中森芳明さんは言います



3田辺後援会の人たち

す。この日も活発な意見が出ました。▼日常的なつながり深めて

以前は他党のポスターを貼っていたところですが、今では固定ボードに共産党のポスターを常時貼ってくれるようになりました。その力は何だったのか。Aさんは「特に」といったキッカケは思いつかないけれど、仲良くなったから、話もよく聞いてくれるようになったり、共産党を理解してくれるのかなあ」と笑いながら言います。

「後援会員の力を借りないと、後援会活動も選挙活動も元気が出ない」といいます。リスペクトし合って活動参加を広げています。ハンドマイク宣伝では、手作り原稿を用意して参加する人、後援会ニュース「田辺だいいい」作りでも後援会員から「コロナ禍の下での子ども状態を寄稿してもらいました。▼やっぱり共産党を強く大きく」

「赤旗読者でも『吉村(大阪府知事)は頑張り続ける』っていいね。テレビの影響は大きい」といって声も出ました。同時に「一歩踏み出せば共産党を身近に知らせることができると前向きな意見がどんどん出ました。「ハンドマイクは、躊躇しただけで、やってみたら反応いっぱい元気出たよ」「シールアンケートは対話のキッカケになるから早くやりたい」の声も。

「コロナ対策でも人の命を大切にしない安倍政権には審判を下さない」と共産党を強く大きくするために仲間を増やそうと「衆議院選挙がいつ来てもいいように準備を」とかかないと「一つどいでは近畿比例4議席絶対回復の意気込みを固めました」。

訪問で後援会員拡大

3月以降、59人増

京都左京区・葵学区

京都市左京区の葵学区の党支部と後援会は毎月の地域訪問で後援会員拡大に取り組んでいます。昨年の党支部の総会で後援会担当の支部委員を増やし、政治地図の整理が進みました。学区には35の町がありましたが、それぞれの世帯数・人口と後援会員数を表にまとめました。

地元の府・市議から届く「行動可能な日と時間」も同じく行動計画を決めます。7月後半から8月3日の間に12人が府・市議と行動。「コロナ感染拡大で電話の反応がよかったところへの訪問から、最近は加入率の低い町に全戸訪問。7月下旬の1日は少人数学級署名で入り、署名8筆、後援会員拡大7人、新規の総選挙ポスター一軒の成果でした。その結果、後援会員は3月比で59人増、世帯加入率が1.1%増え、10.1%になりました。行動に参加した人からは「相手の顔が見えるのでやりがいがある」「議員さんと一緒に行くので、相手の方が喜んでくれる」「大きなお宅でも若い人でも対話になり、党の垣根が低くなったことを感じる」などの感想が出されました。

訪問すれば対話になるし、「赤旗」は増えなくても後援会ニュースは読んでくれ、訪問するのが楽しいという声も。ニュースも映画関係の人の「フム」が掲載できるようにの面白いニュースに、と意気込んでいます。(京都府後援会事務局ニュースより)

総選挙勝利へ総会・役員会

兵庫後援会総会 山下党副委員長が講演

兵庫後援会は7月11日、山下芳生党副委員長・参院議員を招いて総会を開催(写真)。こむら潤近畿比例(8区重複)、福原ゆかり9区候補も出席しあいさつしました。



山下氏は衆院近畿ブロックの目標—180万票、4議席絶対回復へ兵庫が特別大きな位置にあることを過去の選挙に照らして紹介。「兵庫が前進した時には近畿は躍進する。こむらさんを押し上げ、近畿から11年ぶりの女性衆院議員を」と訴えました。

総会では当面30万人後援会にすることを確認しました。

奈良後援会総会 こくた国対委員長が講演

奈良後援会総会は7月19日に開かれ、こくた恵二国対委員長が講演。こくた氏は「近畿の衆院議席は定数28で2議席、議席占有率は7%しかない。『近畿は一つ』の一体感を大切に4議席を必ず回復を」と訴えました。総会では6万人後援会をめざすことを決めました。

京都 後援会事務局が京都市議団と懇談

後援会事務局会議(7月8日)を開き①当面20万人会員拡大へ各後援会が独自目標を決める②街頭宣伝など後援会「見える化」作戦を進める③「特別月間」成功へ力をつくすことを確認。初めての試みとして京都市議団との懇談会を開催。後援会活動の前進へ認識を共有しようと開かれたもので、単位後援会の積極的取り組みが紹介され、「会員の力を引き出す努力をもっと」など活発に意見交換しました。